



雁田山希少種シリーズ
【ワダソウ ナデシコ科】

真っ白な5枚の花びらが美しい早春の植物。見る機会が意外に少ない花の一つで、きわめて貴重。名前は、長和村の和田峠からとった。

栗ガ丘 記・清水照雄

■ 決算審議	P 2
■ 7月・9月会議	P 4
■ 一般質問 (12名)	P 6
■ 一般質問 その後どうなったの?	P 19
■ 傍聴記・学生が語る未来の小布施!	P 20

学生が語る未来の小布施!

小布施サマースクールをスタート地点に。

長野西高校 (国際教養1年生)

山崎 真裕



先生の言葉や教科書を鵜呑みにし、丸暗記

してテストで良い点数を取ることが本当の勉強でしょうか? 私はなんとなく違う気がしています。私は今、先生からの一方的な講義式の授業ではなく、生徒自身も考え、自分の意

見をもてるような授業——先生も生徒も主体的に参加・参画している授業——を自分たちの手でつくっていけないかとサマースクールに参加した後、考えるようになった。なぜ夜しか星が見えないのか。なぜ飛行機は落ちてこないのか。だれしも小さい頃に目の前の現象に興味と疑問を抱いたと思いま

す。そしてその知的好奇心の赴くままに学習をし、その謎が解けたときの喜びも味わったはず。私は、小さい頃のこの新鮮な気持ちこそ、本来の勉強だと思っています。しかし高

校生の私たちの多くは、授業内容に対する興味も薄いとこののが現状です。参加・参画型の授業を作るには、まずは授

業内容に興味をもってもらうことが先だと考えるようになりまし

編集後記

この度の東京オリンピック招致のプレゼンテーションで一躍有名になった「おもてなし」の言葉。小布施町では、以前から常に「おもてなし」の心で、世界中から多くのお客様をお迎えしてきました。「小布施見にマラソン」も、多くの選手の方々を迎え、早くも十一年。今後のマラソンの動向も気になるのですが、これからの「おもてなし」の心を世界に発信し続けていきたいものです。

傍聴記



身近な話題が、議会で質問されると知り九月議会一般質問を傍聴する機会を得た。一日目は六名、二日目は四名の傍聴者であった。個々に

事情はあるものの、や、寂しい感じがする傍聴席で、議員の質問、行政の答弁に、耳を傾けた。24件の一般質問に、12名の議員が質問に立った。質問内容はそれぞれ異なるが、住民の代表発言者であるから、発言の内容も重みのあるものでなくてはならない。

来年の「見にマラソン」の継続について、2名の議員より質問が出された。両議員から「見にマラソンは継続して欲しい」との要望に対して「民間主導での継続が望ましい」との行政側の答弁であった。小布施町は、ボランティア活動が盛んな町だけに、中止

になれば、住民の活動の場が失なわれかねない事態も考えられる。二〇二〇年のオリンピックが、東京に決定。尚更の事、スポーツの力が注目を浴びる。先人の築いた功績を無駄にする事なく、自立の町の結論を急ぎたい。傍聴で気づいた点

は多々あるが、傍聴者に背を向けての発言は、少々違和感を覚えるので一工夫が欲しい。今回、行政と議員の質問のやり取りを肌で感じ取る事が出来、有意義な傍聴であった。今後の町の発展と議員の増々の活躍を期待して議場を後にした。

中央 滝口 文雄

発行責任者		議長 関谷 明生
議会広報常任委員会		委員長 原 勝巳
副委員長		山岸 裕始
委員		小林 一広
富岡 信男		川上 健一
大島 孝司		関 悦子

平成24年度決算審議

議会で認定!!



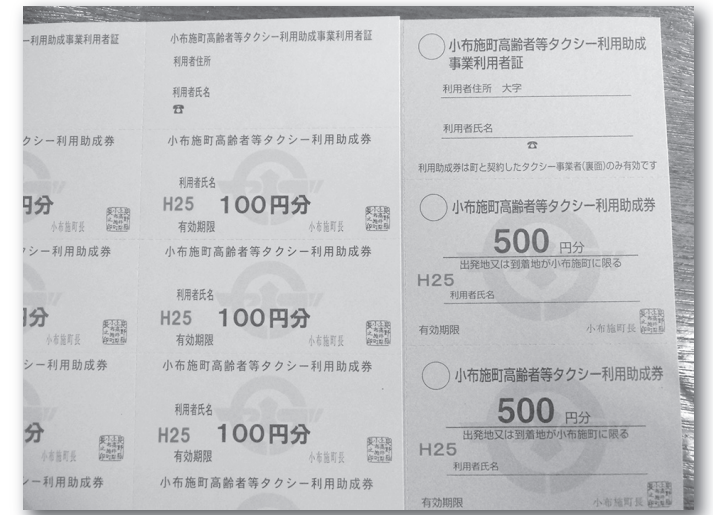
小布施町で貸し出している家庭菜園。
10区画が空いている。

早急な整備が求められる国道403号。
小布施らしい道を望む。



決算特別委員会

75歳以上の高齢者等の支援に
毎月100円券6枚500円券3枚の
タクシー券支給



歳入総額

46億787万円

平成24年度 一般会計

歳入 46億0787万円

- Q 企業数が減少しているが原因を把握しているのか
A 厳しい社会情勢の中倒産等考えられる。
- Q 固定資産税の収入が減っているが原因は
A 見直しによる評価減、想定に違いが生じた。
- Q 基金残高が減ってきているが20億円を目指す町長との考えに相違があるのではないかと
A 町長の方針に変わりはありません。
- 歳出 43億8547万円
- 総務費 7億6883万円
- Q 同報無線の交換未実施の自治会が毎年同じ理由は。
A 使える物が多く、老朽化のひどいところから変えている。故障した物は随時対応をしている。
- Q 光熱水費が増えているが震災後の節電の努力は。
A 電力の契約上、使用量により決まってしまう。北斎ホールの冷房が大きく関係する。数値が上がらないよう努力している。
- Q ゆるキャラの活動状況と今後の活動の予定は。
A 24年度は20回、25年度は50回を予定。
- Q 都市農村交流推進による定住人口増加のモデル実

験1155万円の委託先及び内訳は。

A ア・ラ小布施です。小布施若者会議の実施。

農林水産業費 2億1324万円

Q 家庭菜園を増やし荒廃農地の改善に。

A 募集はしているが現在10区画が空いてる。

Q 新規就農者の確保について毎年10名を目標にしているが今後の取り組みは。

A 呼び込みを積極的に行いその人のプロセスにあった支援をする。

商工費 1億399万円

Q 空き店舗活用補助金を24年度に利用した店舗は。町で把握している店舗が少ないが。

A 中町での新規店舗です。今後も情報を集め発信する。

土木費 5億8619万円

Q 国道403号整備促進期成同盟会に対し市町村により意気込みが違うように感じるが町の考えは。

A 着手している市町村とないところの違いと思う。

消防費 2億1127万円

公債費 4億7000万円

予備費 0円

歳出総額

43億8547万円

民生費 11億6869万円

Q 団体への運営補助金300万円の使途と地域支援合い体制づくり事業の成果については。

A 車の購入にあてられ福祉施設への送迎に使用されている。成果はまだ開始したばかりである。

Q タクシー利用助成券等の発行状況は。

A 年々増加しており、利用し易い金額の設定をしている。

Q 放課後児童クラブの利用児童数、施設環境状況については。

A 54名が教室、グラウンド、体育館などを選択をして活動している。

衛生費 2億5910万円

Q 健康と交流の新たなまちづくりの予算執行率が低い理由は。

A 研究所開設が遅れた分、委託料が低くなった。

Q 地域医療体制整備の補助金の内容は。

A 医療機器の導入、救急医療体制への補助。

Q ひきこもり支援等サポート事業の運営方法の見直しは。

A 臨床心理士を配置し、出向く活動をしている。

Q エネルギー会議開催委託料一人3万円は高額ではないか。

A 専門家の指導料としては、むしろ低額と考える。

教育費 5億2534万円

Q 高井鴻山記念館は木造だが火災対策は検討をしているのか。

A 30周年を機に調査をしている。

Q 小布施ミュージアムで作品輸送ほか委託への内訳は何か。

A 水戸岡鋭治展と中島親子展への経費が主です。

特別会計

国民健康特別会計 12億4570万円

Q 滞納繰越は何人くらいか、また資格証明書は発行するのか。

A 約20人程度である。短期保険証で対応している。

後期高齢者医療特別会計 1億486万円

介護保険 特別会計 8億4418万円

同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計 95万円

7月会議

○小布施町固定資産評価員の選任について
選任に同意しました
久保田隆生（副町長）

9月会議

9月会議は2日から19日までの会期で補正予算・条例改正・平成24年度決算認定等の議案を可決しました。

◎町税以外の諸収入金に対する手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例

平成25年度税制改正により地方税の延滞金等の割合が引き下げられたことに伴い、使用料・手数料などの税外収入や介護保険料などに係る延滞金についても、同様の引き下げを行うもの。

- 1) 町税以外の諸収入金に対する手数料及び延滞金徴収条例
- 2) 小布施町介護保険条例
- 3) 小布施町後期高齢者医療に関する条例
- 4) 小布施町都市計画下水道事業受益者負担に関する条例
- 5) 小布施町農業集落排水事業分担金徴収条例
- 6) 小布施町立栗ガ丘幼稚園管理及び運営に関する条例

条 例 改 正

Q A Q

幼稚園の授業料に今まで延滞金がなかったのはなぜ。経緯に関しては不明。追加させて頂いた。

Q A

延滞金の率が下がることによって、滞納が増える心配はないのか。その対策はあるのか。

A

その心配はしておりません。今まで通り対応する。

農地対策費

283万円

町と土地改良区の設計料負担割合の変更によるもの。

Q 土地改良区ストックマネジメント事業負担の財源は。

A

県が事業主体。地元は1/4負担。事務手続き上、土地改良区の負担を町経由で負担する。



小布施土地改良区第2揚水機場

ブランド戦略事業

30万円

小布施町とJA須高農協組合とタイヘブドウ、桃等のトップセールスの旅費。



海外で高く評価されている小布施の果樹

特別会計補正予算

- ◎国民保健特別会計 2,344万円
- 共同事業拠出金追加・予備費増加分
- ◎後期高齢者特別会計 451万円
- 後期高齢者医療広域連合納付金
- ◎介護保険特別会計 392万円
- 前年度繰越金の確定により予備費にまわす

一般会計補正予算

農林水産事業費

1,040万円増

経営体育成支援事業補助金 569万円

農家が農機具を購入する時に国の支援を受けて補助するもの。



購入時に国から支援

有害鳥獣対策費

5万円

長野地区にある射撃場が老朽化のため、改修費用の各市町村分担金。

Q 長野射撃場整備費用分担金の内容は。

A 県1/2
地元1/2



増えるカラス

陳情を審査

○国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する陳情書

陳情人

連合長野高水地区地域協議会須高地区連合会

趣旨

国の責任による35人以下の学級の推進と教育予算の増額を求める意見書の提出
採択
○「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情について

陳情人

全国森林環境税創設促進議員連盟

趣旨

「石油石炭税の税率の特例」による税收の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を求める意見書の提出。
採択

追加議案

平成25年度農山漁村地域整備交付金（農業集落排水）機能強化小布施北部地区処理施設機能強化工事請負契約

7,665万円

意見書

○道州制導入に断固反対する意見書の提出依頼
依頼者 長野県町村議会議長会

趣旨

「住民自治の推進に逆行する」道州制反対の意見書の提出
採択

人事

小布施町教育委員会委員
任命に同意しました

跡部 由美子（押羽）

反対討論

町民の福祉とくらしを守る町政にすべき

小林 正子

民主党に続く安倍政権の暴走。24年度は社会保障削減、くらし平和を脅かす節目となった。

自然エネルギーのまちづくり、命とくらしを守る地方自治体の使命から見てどうであったか。

★土木寄付金は地財法違反の地元負担金。廃止を ★高齢者等タクシー券年36枚交付を歓迎。周知徹底を

★解放同盟協議会補助金3百万円は毎年5%減額の約束に反する。廃止を

★放課後児童クラブは本来の役割果たしていない。抜本改善を ★可燃物増、資源物減。活動再強化を

★太陽光発電に実績ある住宅リフォーム助成復活を ★信学会委託の学習セミナーはやめ、中学校の学力向上支援事業充実を

★音楽堂トイレに続き他トイレ改修。清掃と維持管理を ★おぶせミュージアムの美術品購入終了と企画展減収支改善を。

以上反対討論とします。

賛成討論

小布施らしい取組を全面的に評価

小林 茂議員

総評として、義務的経費の割合が41%を占める中で「経常収支比率」90%は経費削減や無駄の排除等の努力の結果であり評価すべきことであります。

成果のあった事業の一例として
①教育環境改善に向けた学習支援館の創設、待機児童ゼロへの人材配置増②タクシー利用助成の拡充、給食配食サービスの充実③第一避難所となる公会堂の耐震化改修資金貸付基金設置や防犯連絡会の新設・防犯カメラの設置。ゲリラ豪雨に備えた雨水浸透マスの設置⑤新規就農、起業支援、定住促進と連動させた若者会議や都市農村交流事業の実施等小布施らしさを全面に出した取り組みが挙げられます。

決算審査の過程で委託事業や執行されなかった事業等のあり方の議論がありました。これらは次年度の予算編成の過程で反映されま



9月会議における市村町長

Q 昨年12月、町長選が行われ、無投票により市村町長の3期目が決まりました。市村町長のソフトは素晴らしいものがあります。しかし副町長人事では多少難航しました。曇りがあつてはいけません。正式に決まった市村体制において政策方針に変更があるのか、新たな気持ちと意思を、強いメッセージとしてお聞かせください。



小林一広 議員

副町長が決まり市村町政の方針に変更はあるか

答 政策には何ら変更はありません

(市村町長)

A 昨年12月の町長選により、3期目の町政運営に当たらせていただくこととなりました。すでに7カ月が過ぎております。町民の皆様とご一緒に新たな町づくりを力強く推進するため「途切れない向上のスパイラルを作りましょう」をスローガンに、町づくりの原点に立ち返る事を上げさせていただきました。

これを柱とした施策を推し進めてまいります。この町の原点と認識しています。

3月議会では副町長の人事案において町民の皆様には本当にご心配をおかけいたしました。久保田

新副町長は、私の思いを十分に理解をしていただいております。これからの方向政策に何ら変更もありません。一心不乱に町づくりをこれまで以上に皆さんと一緒に進めさせていただきます。

サマースクール「H-LAB」の評価は 高評価と認識している

(池田総括参事)

Q 私拝聴させて頂きましたが、非常に刺激的で世界の観が変わる思いをしました。昨年の若者会議がきっかけですが行政としてサマースクール「H-LAB」をどの様に評価しているのか。また今後の展開、発展があるとすればどの様に考えているのか。

中心的に活動した大学生との調整も出来ていないため、次の開催については今現在未定です。傍聴を含め多くの参加者を望みたいところでしたが、分かりやすい言葉で町民に呼びかけるべきであった。関係していただいた町民の皆さんのご意見をお聞きし、次の開催が可能であれば前向きに検討したい。

A おおむね肯定的な意見を多く聞いております。まだ

立町」としての小布施町の更なる充実と、定住促進策の更なる促進と人口維持、高齢化率の緩慢化、

全国各地より議会視察

小布施町議会の通年議会、議会改革の取り組みについて、多くの議会から視察に来町されています。従来は「まちづくり」「景観」が中心でありましたが、最近は「議会改革関係」が多くなりました。なお、来町された議員の皆様への説明は、町議員が順番に行なっています。

- 4 / 18 高知県中土佐町議会
- 5 / 9 埼玉県戸田市議会
- 5 / 14 岐阜県北方町議会
- 5 / 16 和歌山県有田川町議会
- 5 / 17 兵庫県稲美町議会
- 5 / 22 宮城県山元町議会
- 5 / 29 宮城県高鍋町議会
- 7 / 9 千葉県東金市議会
- 7 / 10 宮城県利府町議会
- 7 / 30 三重県いなべ市議会
- 8 / 19 岐阜県関市議会
- 8 / 22 宮城県松島町議会
- 10 / 2 佐賀県鹿島市議会
- 10 / 3 埼玉県鳩山町議会
- 10 / 3 愛知県一宮市議会会派
- 10 / 7 宮城県県北地方議会議長会派
- 10 / 10 高知県香南市議会
- 10 / 25 熊本県嘉島町議会



10月3日 埼玉県鳩山町議会（6次産業センターにて）

ここが聞きたい？

9月会議 一般質問

目次

- 小林 一広7
 - ①副町長が決まり市村町政の方針に変更はあるのか
 - ②サマースクール「H-LAB」の評価は
- 渡辺 高8
 - ①小布施見にマラソンの継続について
- 富岡 信男9
 - ①深沢川の改修と雨水対策の推進
- 小林 正子10
 - ①女性単独世帯への補助制度の創設を
 - ②2015年度からの介護保険制度改定へ町はどう対処するか
 - ③町内巡回バスの推進を求める
- 関 悦子11
 - ①児童虐待の現状と虐待防止への取り組み
 - ②小・中学校における暑さ対策
- 小淵 晃12
 - ①小布施見にマラソンの継続を
 - ②町パンフレット（チラシ）を効果的に
- 渡辺 建次13
 - ①国道403号歩道改修請願のその後
 - ②交差点での渋滞緩和と巻き込み事故の防止
 - ③小中学生のインターネット犯罪被害の防止とネット依存対策
- 小林 茂14
 - ①町「食育推進計画」の総括と今後の計画
- 小西 和実15
 - ①幼保小中一貫教育について
 - ②指定管理施設に対する第三者評価制度の設置を
- 川上 健一16
 - ①集中豪雨による河川の氾濫に対する対策は
- 原 勝巳17
 - ①自治会未加入者について
 - ②役場東側ガラス窓の金網の撤去について
- 山岸 裕始18
 - ①フラワーセンターの進捗状況は
 - ②千曲川HWミュージアムプロポーザル進捗状況は
 - ③定住促進プロジェクト進捗状況は
 - ④職員に「仕事以外にプラスワンで社会貢献活動」を



渡辺 高 議員

Q

第11回小布施見にマラソンは、盛況のうちに終わりました。8千人余りのランナーが

「小布施見にマラソン」の継続について

答 関係団体との協議をつめ、10月までには町として結論を出す

参加し、多くのボランティアの皆さんの協力があったの事です。小布施見にマラソンは、実行委

員会の主催で開催されてきました。が、来年以降は実行委員会での開催はできないと聞いています。

(田中総括参事)

町として来年以降の開催をどう考えているのか、また開催するにあたって、実施主体のあり方、開催スケジュールなどどうお考えか伺います。

や町民の皆さんからの多種多様な飲食の提供など、行政が主催してはなかなか実施できない、いわば常識にとられない、楽しく面白い現在の大会を続けていくには、民間の皆さんが主体となること望ましいと考えます。

A マラソンの中心的な役割を果たしていた民間企業の方から、今後その役割を担っていくことが難しいというお話がありました。申し出を受け、町は見に

来年も見にマラソンを実施するためには、民間企業に担っていた、大会の計画・運営の体制をどうしていくかを決めていくことが必要です。

マラソン実行委員会の構成団体の皆さんなどと意見交換を行っています。

今後、関係団体との協議をつめできるだけ早く新たな体制が構築されるように、9月、遅くとも10月までには、町として結論が出るように尽力してまいりたいと思います。

町は現在、共催として給水と救護を担当させていただいています。町が主催をという意見もあるわけですが、暑さの厳しい真夏の開催



楽しいマラソン風景

深沢川の改修と雨水排水対策の推進

答 県へ積極的に改修について要望する (八代総括参事)



富岡信男 議員

Q

長野県一級河川深沢川の改修については、高速道関連事業として平成4年度から平成18年度にかけて工事が行われ、下

役員が年2回除草剤散布を行って。深沢川の早期改修に向けた町の取り組み状況をお聞かせください。

町雨水排水計画に基づき千曲川雨水幹線は、高速道関連事業で整備されていますが、他の幹線については未整備の状態です。平成24年度に松村駐車場へ3基の雨水浸透枳を設置しましたが、小布施町

A 深沢川の改修については町でも要望をしてきていますが、長野県の北信圏域河川整備計画にも盛り込まれておらず、優先度が低い状況です。今後町長が県への要望活動を積極的に行い早期改修に努めていきます。

町でも検討しましたが豪雨時に問題のある箇所に対応については、現在の排水計画に基づき幹線を整備すれば対応できる見込みであり、今後溢水の激しい水路の改修、公共施設への調整池の設置なども検討していきます。

雨水計画の見直しについては、

沢川は長野県管理の河川ですが、町内の半分近い雨水が流れ込む町排水計画でも根幹を成す河川です。地元の深沢川維持管理組合でも長年にわたり須坂建設事務所を上流部の改修促進・柵渠止工の劣化対策・堆積物の浚渫など改修要望をしています。

また、水路の維持管理についても、北岡・押羽・羽場の住民250人が出労し年1回の藻払い、自治会

効果もあると思います。町排水計画の見直し状況についてお聞かせください。



北岡・押羽・羽場の皆さんによる深沢川の草刈り



小林正子 議員

Q 長寿ゆえに低年金の一人暮らし高齢女性は増加する。夫に先立たれると、区費や固定資産税の納付に生活費削ってもままならず、自治会に減免も言い出しにくい。家を売りたいが買い手がない、壊すお金もない。切なく眠れないこともある、との訴えをよく聞きます。

A この実情から①区費を減免したら、町が自治会活動費交付金に上乗せ補填し、区費の減免を受けやすくする。②固定資産税減免条件を条例より広げる。③医療費一割負担、介護保険に補助…など提案します。

A ①自治会が決める自治会費で、町の補助は適当ではないが、自治会長と相談していきま

す。②条例で定めた生活保護、災害の外は減免できない。③65歳からの医療・介護への補助制度はありません。

女性ひとり高齢世帯へ補助制度創設を求めます

**区費減免は自治会長会と相談します
高齢化が進むと必要になる制度かもしれない**

Q 年金額が生活保護支給額に達しない女性が6割。しかも、生活保護は要件が厳しく、申請への抵抗感も強い。一人暮らし高齢女性を支援する制度を、特別に考える必要があるのではないですか。

A 質問を聞いても、私どもは調査が行き届いていないと感じた。高齢化が進み、提案の制度や考え方も必要になるかもしれない。低年金高齢者の調査、現実把握に努め、手当てを探っていきたい。

「プログラム法案」介護保険はどうなるか

国民のために改正を望んでいます。町はサービスの質を落とさず進めます。

(中條リーダー)

Q 安倍政権「社会保障プログラム法案」は、社会保障のかつてない切り捨てで許せない。町として、この法案に反対の表明を。介護保険で、要支援を介護保険から外して市町村の事業に移行する。どう対処するか。

A 改革整備で、国民のためになる制度改正を望みます。サービスを落とさず進めます。その

のためのボランティア育成が必要。町独自のウォーキング、健診、生きサロンなどを充実させたい。

Q 要介護Ⅰ・Ⅱの利用者を介護施設利用から外す。施設の居住費・食事の補給付縮小する。これらに対してはどうか。

A 具体的な実施法案がこれから作成される。誰にも公平な負担制度となることが大切。

**巡回バス 本格運行決断を
今回試験運行の結果から最終判断。**

(竹内総括参事)

Q 来年から本格運行と決断を。「千年樹の里まつり」などに巡回バスを特別運行いただきたい。

A 10月から半年間実証運行して最終判断したい。イベント時の巡回バス運行は部分的に実施している。今後も継続する。



温泉へ行くのに便利との声も 高山村バス



虐待のない明るい未来

Q 児童相談所における児童虐待相談件数は毎年増加を続け、多数の死亡事例も発生している。従来は、あらゆる児童家庭相談は児童相談所に対応していたが、現在は、住民に身近な市町村の業務として位置づけられ、子供に関する相談や虐待の未然防止、早期発見に積極的な取り組みが求められている。

関 悦子 議員

児童虐待の現状と防止への取り組み

答 保健師による健康診断、子育て教室、家庭訪問など

(竹内総括参事)

小布施町では今年度から、保健師の家庭訪問による「家族の健康増進支援事業」が始まり、地域に密着した活動が可能となり、子供への虐待の早期発見、初期対応が期待される。

(1) 町の児童虐待に関する相談状況は。

(2) 児童虐待に関する行政、家庭、幼稚園、保育園、学校との連携は。

(3) 家庭訪問時における児童虐待発見の取り組み状況は。

A (1) 児童相談所とともに、ケース検討を行い対応する。また、福祉担当職員、保健師が直接相談にに応じている。

(2) 児童相談所と連携をしながら、学校や、幼稚園、保育園の担当者を変えて対応している。

小中学校の暑さ対策

全教室にエアコンの設置を進める (市村町長)

(3) 保健師が母親の育児疲れや、育児不安の話を十分に聞き、話し相手になることで虐待予防、早期発見につなげている。

Q 今年度は全国各地で、過去最高の気温が観測され、今後も気温の上昇が続くことが懸念されている。町では、今年度、保育園、幼稚園のすべての教室にエアコンを設置し、体の調整機能がまだ整っていない幼児にとっては快適な環境が整備された。一方、小中学校では各教室に扇風機が設置され、暑さ対策に活用している。

(1) 小中学校の各教室の温度、湿度測定と、熱中症対策は。



学びに適した環境整備を

(2) 各教室には扇風機2台設置されているがそれで十分か。

A (1) 各教室に温湿度計が設置され、担任の教師が活用している。水筒持参、汗拭きタオル持参、冷却用の首巻の許可と、扇風機の完全稼働を実施。

(2) できるだけ早く、小中学校の全教室にエアコンを設置するための検討に入る。



小淵 晃 議員

Q 第11回小布施見にマラソンが7月14日に開催されました。

全国各地から7、313人のランナーと応援の家族ら約2万人が来町されました。

給水場では「頑張ってください」の小学生の声援に「ありがとう」



ランナーにタオルを渡す中学生（ゴール地点）

小布施見にマラソン」の継続を

答 民間主導で存続を希望、支援はします（市村町長）

の笑顔が手を振り、沿道では声援を送る町民の方に「ありがとう」と手を振り走るランナー。ゴールでは「ご苦勞様」と言ってタオルを掛ける女子中学生に「ありがとう」の汗だらけの笑顔。

この1日は町の中で何回の「ありがとう」を聞いたことでしょうか。

しかし、この「見にマラソン」は来年の開催が未定で多くの町民の方が心配をされています。町行政として「継続をする」「しない」と言える立場ではないことは承知しています。

しかし、小布施町にとっては多くの来訪者をお迎えする大イベントですので、町の責任者としての考え・想いをこの議場でお述べいただきたい。

A 行政が主体になると規制が加わり、楽しさが損なわれると思いますが、小布施を日本中に発信する「見にマラソン」は、ぜひ続けてほしいと私は思っています。

民間主導で行政がサポートし、最終責任は行政がとる形を確立したい。

町パンフレット（チラシ）を効果的に実現に向け、検討をしてみたい（久保田副町長）

Q パンフレットは「人集め」「事業の説明」など広告の媒体として大きな効果があります。

しかし、中には発行する目標やターゲットとする対象者の絞り込みが弱いものもあるので、より効果的になるよう研鑽されたい。

①「おぶせマップ」と「おぶせ

中心エリアMAP」を併合し見やすいパンフを発行してはどうか。

②新規起業・新規就農の希望者に渡せる、小布施町の素晴らしさ・お迎えする熱き想いが伝わるパンフレットを新たに準備してはどうか。

③我が町の生産者から発送される、りんご・ぶどう・なし・もも・くり等の宅配便に乗って小布施の観光パンフレットをお届けする。その際のパンフレットを作成してはどうか。

A ①おぶせマップは町文化観光協会と協議し更新をしていきます。

②新規起業・新規就農用のパンフレットは定住促進のため必要と考えています。

③既存のパンフレットを活用頂けるよう、周知してまいります。

国道403号の歩道の段差解消の請願をうけてのその後は

答 本年度に概略設計、次年度以降工事の予定（市村町長）



渡辺建次 議員

Q 町が県（国）へ要望した内容とその後の県との対応は。

A 県知事に手渡した内容は①バイパスの整備を前提に弾力的な403号の早期着手②バイパス整備と連携した交通誘導の実施③歩道面のフラット化④電線類の地中化⑤小布施の景観に配慮した緑化や灯り景観の整備です。

要望後、県と検討会議を設置、平成25年5月には交通量調査、6

月、8月には町の提案の説明会を開催しました。

Q 工事の着工が遅れていると思われるが、町はどの程度催促されているのか。

A 県ではまず、概略設計を行い、地権者へ用地の確認後、実施設計を行うとしており、実施設計の段階で町との協議が必要になると考えています。

早期実現のため、8月26日に、長野県議会危機管理建設委員会に403号の陳情をしました。

Q 今後の見通しは。

A 本年度中の概略設計。次年度以降事業化に向けた実施設計、用地取得、工事の予定です。無電柱化については、建設事務所第7期無電柱化推進計画に搭

載されるよう、要望箇所の提出をしました。

交差点での渋滞緩和と巻き込み防止

一つの提案として関係機関へ話します（畔上リーダー）

Q 交差点での横断歩道は、中心より車一台分程離して設置してはどうか。

中心に近い横断歩道は、歩車分離信号でないと車が左折の場合、交差点内で斜めに停止することになり、渋滞の原因にもなりますし、斜め左側は、車の運転手にとって歩行車が見えづらく巻き込み事故になりやすい。

また、右折の場合は、車が横断歩道の手前に停止すると、反対車線をふさぐことになり、渋滞の原因になるとともに、運転手のイラ

イラ感も増します。

交差点の横断歩道は、余裕をもって設置すべきだと思いますが、いかがでしょうか。

A 一つの提案として機会をとらえて関係機関へ話します。

小中学生のインターネット犯罪被害の防止とネット依存対策
早急に調査を行い、指導徹底を図ります（竹内教育長）

Q 小中学生をとりまくネット環境と、ネット依存対策は。

A 小学5・6年生と中学生は、約8割がインターネットに接続できる環境にあります。

ネット依存対策は、早急に調査を行い、その結果をもとに一層指導徹底を図ってまいります。



歩道の段差解消と、安全な横断歩道の設置が望まれる国道403号



小林 茂 議員

Q

国民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むための食育を総合的、計画的に推進し、現在及び将来にわたり健康で文化的な国民の生活と豊かで活力ある社会の実現に寄

町食育推進計画の統括と今後は

答 教育部門の計画が柱

ようになっているのか。

①平成18年度を初年度とする「町食育推進計画」を受けて、平成19年度から平成23年度の五

与することを目的に食育基本法が公布・施行されました。この法を受けて小布施町は平成18年度から平成22年度までの5年間の食育推進計画を策定しました。この計画は県内で先駆的役割を果たすとともに、「食を大切にするまちづくりを積極的に進める」と誓いました。その目標を実現するため進捗管理は別途作成する「町食育推進計画実施五

①「町食育推進計画実施五カ年計画」の年度毎の達成状況と周知はどのように行ったのか。②食育推進計画の全体統括の概要と公表はどのように行ったのか。③統括を踏まえ、次期食育推進計画はどの

①「町食育推進計画実施五カ年計画」の年度毎の達成状況と周知はどのように行ったのか。②食育推進計画の全体統括の概要と公表はどのように行ったのか。③統括を踏まえ、次期食育推進計画はどの

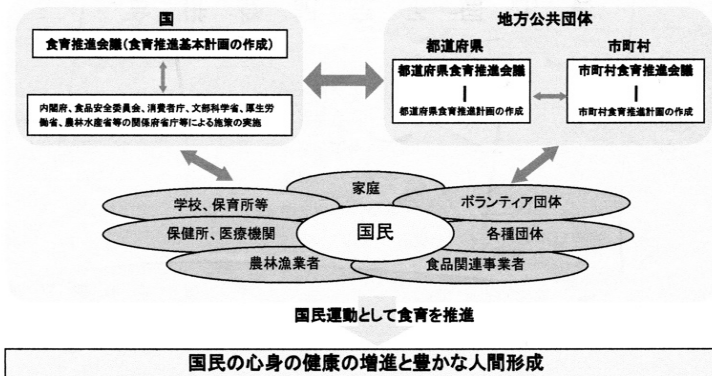
第2次食育推進基本計画に基づく食育の推進に当たっての目標

	《現状値》	《目標値(27年度)》
1. 食育に関心を持っている国民の割合	71.7%	90%以上
2. 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	9回	10回以上
3. 朝食を欠食する国民の割合	子ども 1.6% 20歳代男性 30.0% 30歳代男性 27.7%	子ども 0% 20歳代男性 15%以下 30歳代男性 15%以下
4. 学校給食における地場産物を使用する割合	23.4%	30%以上
5. 栄養バランス等に配慮した食生活を送っている国民の割合	50.2%	60%以上
6. 内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続している国民の割合	41.5%	50%以上
7. よく噛んで味わって食べるなどの食育に関心のある国民の割合	70.2%	80%以上
8. 食育の推進に関わるボランティアの数	33.5万人	37万人以上
9. 農林漁業体験を経験した国民の割合	27%	30%以上
10. 食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている国民の割合	55.6%	90%以上
11. 推進計画を作成・意識している市町村の割合	市町村 : 37.3%	市町村 : 100%

全国的に取り組んでいる目標

推進体制

食育を国民運動として推進していくためには、多様な関係者の緊密な連携・協力がきわめて重要で



第2次食育推進計画のイメージ(長野県)

幼保小中一貫教育について

答 幼保小中の連携を深めていくことが

小西和実 議員

小布施町においては2年前から、幼保小中一貫教育を実施しておりますが具体的にどのようなものか、幼保小中一貫教育について全体像がはつきりとしていないように見えます。

幼保小中の連携が取りやすいという小布施町の特徴を活かし、15歳までの一貫した質の高い教育によって地域のため、社会のため

幼保小中の連携が取りやすいという小布施町の特徴を活かし、15歳までの一貫した質の高い教育によって地域のため、社会のため

①自分の郷土を知って誇りと自信を持って活動するように育成したい。また児童・生徒が自分の目標を持ちその実現に向かつて行動し、考え行動する力を育てたい。②取り組みの一例としてふるさと学習、園児・児童・生徒によるおぶせっ子祭りがある。③郷土を知り、誇りと自信を持ち、自ら考え行動するように育てる。

②の具体的な取り組みについて、イベントは一貫教育とは言えないのではない

人材を育てていくべきであると考えます。

①幼保小中一貫教育の柱は何か。②現在、具体的にはどのような取り組みを行っているのか。③小布施の子どもたちをどのように育てていく考えか。

①自分の郷土を知って誇りと自信を持って活動するように育成したい。また児童・生徒が自分の目標を持ちその実現に向かつて行動し、考え行動する力を育てたい。②取り組みの一例としてふるさと学習、園児・児童・生徒によるおぶせっ子祭りがある。③郷土を知り、誇りと自信を持ち、自ら考え行動するように育てる。

①自分の郷土を知って誇りと自信を持って活動するように育成したい。また児童・生徒が自分の目標を持ちその実現に向かつて行動し、考え行動する力を育てたい。②取り組みの一例としてふるさと学習、園児・児童・生徒によるおぶせっ子祭りがある。③郷土を知り、誇りと自信を持ち、自ら考え行動するように育てる。

②の具体的な取り組みについて、イベントは一貫教育とは言えないのではない

小布施町でも長年にわたって同一の法人へ指定管理させている案件が多数あるが、税金で設置された公の施設が一つの法人によって独善的に運営されるのを防ぐ観点からも第三者による評価制度を協定書などに盛り込むべきではないか。

①指定管理を行っている施設及び事業数はいくつか。

具体的な取り組みについて詳しく説明してほしい。

校種間の連携をすすめる事業を推進し、目標を実現していく。

指定管理施設への第三者評価制度設置を

可能かどうか検討していきたく(久保田副町長)

(竹内教育長)

②実施評価はどのように行っているか。

③今後第三者評価制度を設置する考えは。

①11施設6団体。②毎年度報告書の提出を受けて所管する担当部署が確認している。

③大半の指定期間が平成27年度に終了するため、第三者機関による評価が可能か検討する。



教育こそ最も大切な子供への支援

Q

育とは言えないのではない

①指定管理を行っている施設及び事業数はいくつか。



多額の税金が施設に費やされている



川上健一 議員

集中豪雨による河川の氾濫に対する対策は

答 水路改修と浸透枡の設置等で対応していく（八代総括参事）

Q 七月二十五日、午後四時ごろ、集中豪雨があり、町

内の一部地域で、膝下まで水にかかるという水害が発生しました。

この地域の住民の中には小さなお子さんをかかえているご家族もおられ、不安な時を過ごされました。

この時の雨量は、42・8ミリで、降った時間は約30分間でした。近頃宅地造成や道路整備が進み、降った雨が即、側溝に流れ込み、

これまで考えられなかったようなところで大洪水となっています。

今回国道403号沿いの水路と中央団地の西の水路が、伊勢町の

陸橋下で合流し大洪水となりました。線路の下を通っている側溝の容量を大きくする必要がありますと考えます。この日は陸橋下で水が溢れるだけでなく、線路の上

にまで水が溢れ出たために、長野電鉄の列車が通過できず、数分間その場で停車したという事です。

国道403号沿いの水路が伊勢町の陸橋下で集中豪

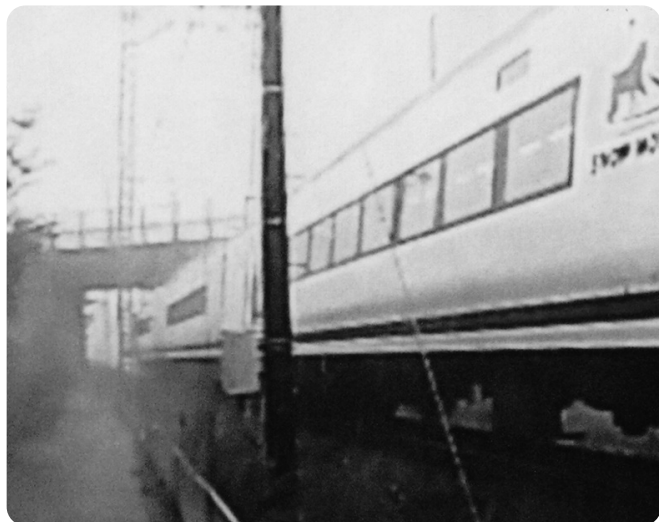
A 水路改修と浸透枡の設置等で対応していきま

す。被害のあったお宅には側溝の幅を広げたり、擁壁を設け宅地に水が入らないようにして

いきます。また伊勢町地区に2基、上流の中町バス停車帯にも2、3基の雨水浸透枡の設置を計画、陸橋道路北側に地権者の了解を得て浸透枡の設置を検討します。

Q 町内には他にも問題となっている地区があると思うが、どのような所があるのか、またその対策は。

A 町内で水路が溢れる所は二十数か所あり、局地的豪雨で水路が溢れたと連絡のあったところは、職員がすべて現場の確認をしています。今後、地元自治会と協議しながら水路改良等を行っていきます。



線路が冠水し通過できない列車



原 勝巳 議員

自治会未加入者について

答 まず自治会加入の必要性を話しいただきその上で町も一緒に加入のお願いをしていきます。（西原リーダー）

Q こ十年自治会未加入者が増えています。自治会加入は強制ではないが災害時には自治会組織力が大きな役割を担う

だけに加入すべきと思います。①未加入者の増加を町はどのようにみてるか。②長期未加入者への改善努力は。③安否情報確認は自治会へ伝えられているのか。④未加入者に対する意見交換は。

A ①全ての住民の方が自治会加入されるよう住民登録の際には加入をお願いしています。②継続的に加入促進等

はしております。③防災訓練では自



全町民自治会の防災訓練

役場東側ガラス窓の全網撤去について
撤去する事も含め検討したい

（西原リーダー）

Q 小学校グラウンドの金網

は、早起き野球が行なわれていた頃、設置されました。早起き野球が行なわれなくなつた今、金網の必要性は無くなりま

した。まちとしょテランが、できた事で、グラウンド周辺環境も大きく変わり、内外景観も、重要視される中、役場東側ガラス窓の金網が、その景観を大きく阻害していると思うので、撤去すべきと思いますが。

A 役場東側ガラス窓の金網の必要性は以前と比べ薄れ



小学校グラウンドより望む役場東側金網窓

ていると考えますが、その必要性や、撤去する事による小学校一帯の景観、撤去に係る経費等を総合的に勘案し、撤去する事も含め検討させていただきたいと思



山岸裕始議員

フラワーセンターの進捗状況は

答 基本設計を進めている。(八代総括参事)

Q ①フラワーセンターの簡易宿泊所として整備は。

②今年度の売り上げは。

A 改修案がまとまったところで皆さんにご意見をいただく。今年度の販売収入額は昨年を上回り3,000万程度になる予定。

質の高い花苗の提供と同時に事業の黒字化を目指したい。

Q 施設案がまとまってから住民に話すというのでは、まちづくりの方法として逆行しているのでは。

A 国庫補助事業のため、当初の目的に沿った改修にせざるを得ない。

農村地域の活性化のための交流を目的とした宿泊施設ということで国と協議している。

Q 今年度中に予定通り完成し運営は始められるのか。

今年度中に予定通り完成し運営は始められるのか。

A 事業は年度内に完了し、運営の方針も固まるように努力していく。



千曲川HWミュージアムプロポール (八代総括参事)

Q プロポールの今年度方針、また審査委員の選定、事前説明にあたっての考えは。

A 昨年度と方針は変わらない。審査委員の方々へ昨年も説明は2回行っているが、都合による欠席された方へ、十分に行き届いていなかった部分もあったように思う。今回は日程も余裕を持たせ、必要に応じて別途説明をしていきたい。また審査委員は昨年お願いをした

方を基本にお願いする。



定住促進プロジェクト進捗状況は (久保田副町長)

Q ①住宅の新築や中古住宅等の購入・リフォーム費用を助成は。

②定住人口を増やすため今後の方針は。

A 現在定住促進のための補助金交付要綱を策定中。

定住人口を増やすためには、子育て支援、教育環境の充実、住宅の建



職員に「仕事以外にプラスワンで社会貢献活動」を (市村町長)

設等への補助など町の財政力で可能な範囲での支援を行うと同時に、小布施でこそできる「人と人との交流事業」も、今後も積極的に行ってきたい。

プラスワンとは「公務員が今以上にサラリーマン化していけば、いくら給与、手当、勤務時間などを適正化しても、公務員バッシングはおさまらない。公務員は、仕事以外の部分で、可能な範囲でいいので、地域活動や社会貢献活動をして、地域・世の中のために働く人材であってこそ価値がある。」という考えです。

Q 職員に徹底する考えは。

A コミュニティごとに地区担当制を設ける、また自治会活動にも参加するよう積極的に呼びかけている。

他団体と交流して人間力を増すようなことは必要。人事評価なども含めながら、職員が自発的に参加するようにさらに働きかけを強めたい。

Q 質問

音楽堂にトイレが無く、これまで役場のトイレを利用してきたが、音楽堂の利用者も多く、トイレ設置の要望の声も多い。また町内の他の公衆トイレ等についても、入口が男女一緒のもの、和式便器のものなどの改修を要望したい。

A 答弁 ウォーキング推進事業も絡め、公衆トイレとベンチの増設を検討したい。

音楽堂のトイレ完成

答弁後の対応

音楽堂トイレは整備済み(教育委員会実施)。その他の公共・公衆トイレに関しては、計画性を持って順次改修を実施中。



完成した音楽堂のトイレ

Q 質問

自宅敷地内に不法に冷蔵庫(廃棄物)を野積みになっているものへの対応は?

A 答弁 今後自発的な撤去につながるように文書勧告し、最終的には刑事告訴する。不法投棄或いは不正放置に関し、当事者の費用で町が代執行できる条例設置も検討したい。

進行中

答弁後の対応

ごみのポイ捨てから犬のフンの放置や不法投棄或いは、自宅の周りへのごみの放置による近隣への迷惑などについて、これを防止し必要に応じた代執行も行える条例の年度内制定を目指して、町政懇談会で皆さんのご意見を聞いている。



町政懇談会での説明の様子

一般質問

その後 どうなったの?

1. 平成23年9月議会の一般質問

2. 平成23年9月議会の一般質問